

道徳通信

令和3年9月22日



「自分のよさを伸ばすために大切なことは何か。」～道徳「カメは自分を知っていた」を通して考えました～

美麻は百人一首を暗記するのが得意です。しかし、百人一首大会の学級代表決めで、同じクラスの里子に負けてしまいました。帰り道、隣のクラスの耕司といっしょになり、里子に負けたことを話すと、里子が小学校の頃からコツコツとがんばって百人一首を暗記していたことを教えられます。そして耕司は、「ウサギとカメ」の話を思い出したと言い、その話になぞらえて、カメは自分を知っていたのではないかと解釈します。美麻は、小学校時代の里子と今日1位になった里子の姿を思い浮かべ、じっと考えるのでした。

授業では、「カメは自分を知っていた」とは何か？美麻が里子に見たものは？について考え、テーマにせまりました。

●● ●●さん

他の人と同じじゃなくてやりがいがあると思えるやり方を見つけ実践すること。

●● ●●さん

自分に自信が持てるようになることをする。

●● ●●くん

たくさん努力することと仲間達と切磋琢磨し合い、自分たちを伸ばすこと。

●● ●●くん

できないを、できるに

●● ●●くん

自分が自分を信じ成長したいという強い意志。

●● ●●さん

自分に自信を持つこと。長所を活かすこと。
自分をもっと知ること。

●● ●●さん

自分を認め（肯定し）、自分の得意なことを見つけていくこと。

●● ●●くん

まずは自分のいいところを見つける。いろんな事に挑戦する。

●● ●●さん

まずは自分の良さを知ること。そして、自分なりの努力の仕方を見つけて自分を信じて諦めないこと。

●● ●●さん

自分のいいところを人に声に出してアピールする。



○みんなの振り返りを読んで・・・

自分のよさを伸ばすためには、「自分の長所を伸ばす」という意見が多かったですね。では、そもそもなぜ自分のよさを伸ばすのでしょうか？みんなはどう考えますか？自分の短所や弱い部分に目を向けようとしたくなかったり、諦めてしまったりすることってあると思います。でも、「そんな自分を変えたい！」という気持ちや、「よりよい自分でありたい！」という気持ちが自分を突き動かすのかもしれないですね。そして、「美麻も里子もこの後どうしていくか？」ということのあるグループに聞くと、「どちらも努力し続ける」と答えてくれました。結果が出て終わりではなく、新たな課題が出てくるので、課題と向き合い続けることも大切なんですね。自分を見つめたことで生まれた新たな気持ちを大切に、自分のよさを伸ばし続けて行ってください。